

# 「アルゼンチンアリ」が発見されました！！

2019年（令和元年）10月31日に福山市多治米町（多治米西公園）において、外来生物法で指定された特定外来生物「アルゼンチンアリ」が確認されましたので、注意してください。



▲実際の大きさ

## アルゼンチンアリ（働きアリ）の特徴

大きさ：体長 2.5 ミリメートル

色：茶色っぽく、全身がほぼ同じ色

体型：比較的スマート

動作：非常に敏速で動き回る（冬は緩慢）

多数の働きアリが行列を作る

**ヒアリ、アカカミアリのように毒針はありません。**

## ①生態系への被害

アルゼンチンアリは繁殖力が旺盛で、その侵入地では在来のアリの種類が著しく減少し、生態系への影響が懸念されています。

## ②不快害虫としての被害

行列を作って屋内に侵入し、台所の食べ物に群がり不快感・恐怖感を与えるほか、就寝中に体中を這ったり咬んだりすることで安眠を妨害するなどの被害も報告されています。

## ③農業害虫としての被害

農作物の芽やつぼみ、花等の植物体を傷つけたり、果実に集まり種子を持ち去ることがあります。また、農業害虫のアブラムシ類やカイガラムシ類と共生するため農作物への被害を助長する例が海外で報告されています。

## ●生息場所

地表表面に簡単な巣を作る他、畑のマルチや敷石の下、石垣やブロックの下やコンクリートの割れ目、植木鉢やプランターの中や下などに生息します。

## ●発見した場合の駆除方法

市販の液体殺虫剤、スプレー型殺虫剤、粉末等殺虫剤、ベイト型（えさ型）殺虫剤等で駆除して下さい。遅効性で巣内の女王アリや幼虫等も駆除対象とする「ベイト型殺虫剤」を中心に使用するのが効果的です。

## 問合せ先

発見情報等：福山市 環境保全課 電話084-928-1072